



「楽しそうな人」は愛されるを地で行く平田さん、会場の女性を褒めて、褒めて、褒めまくる。

様に「お金を使いたい」と思って、ただちのが大切。平田さんのシーアーは、低価格商品で、なじいとは大切な情報から知る事ができる。現場主義者。生の声を聴き、次の回田企画を生み出す。そのため一生懸命努力する。大北地域の観光関係者が、接客現場で一生懸命努力する。どうう気持ちで、取り組んでくるのがいいか。单なるお金稼ぎではなく、気持ちだけで営業し、なかつた自信を始めた。

重要なこと話す圖書室などが  
心改めて考ぐわれれ  
る。ふりかえりして  
わらひ平田ひでの企画  
の一つが、女義だ。ソ  
アーには、海外旅行並  
の荷造りによる西服  
笑む。最近の売りば  
ウェディングドレス  
姿。宴会場で、新郎が  
結婚式の各テーブル  
ローソクに着火する  
ペントを裏以て、ウエ  
ディング姿を披露し  
人一人の鍋に火を付け  
る演田。聞いたので会  
場の盛り上がった範囲  
0-0田の旅行企画商  
品。大阪の身近でも、  
旅行を企画して売る上  
げを伸ばす。知恵と運び  
かされる。松本の魅力  
の話になると、魅力  
いつほの松本をさせ  
売つ出せばかと強く  
口調に変わる。空氣や  
水はねじって、その水  
で満たされた浴槽は、  
まるでミネラルウォ  
ーター園田。都会で味わ  
うものとせば、比べ物に  
ならないおしゃれリン  
ゴや長芋。優ゆでて食  
通とは乗らない農産物

前回に出しての戦略も大切。一番大切な事は、企画が、お祭り目録の「おまちの意見を」という力説。しかもよく話が進む平田さん。90分間の講話時間を感じさせない話術。1970年代にスギーシンターのスタッフとして長野県内を知る平田さんの講話を、また異なった視点から聞いてみないと感じた白でもあった。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白鳥村村長上)

6月中旬、松本市にて  
テルフエナリストで開催された「カリスマ添乗員から学ぶ地域的魅力」と題する講演会を開講する。

# フィールド 風 (現場)からの

おなじみで、驚異的  
部・担当部長の平田  
也さんだ。テレビビ  
ア売り上げを記録す  
添要員。先着3000  
の募集だが、会場に  
4600人。多くの歓  
女性が会場を埋める。

年間一千五百日は旅業務に。ナショナルンが二十九万四千人の貢賛を有する「進士ちゃんクラブ」を持っており、「平田選手も行く」とツアーチケット旅行は、いつも満員で忙。旅先も決まらない状況でも

次回の募集を予約する会員も多いようだ。添田の年間収入は1億から2億と言われてゐるが、年間約8億円稼ぐ競争的な斗志を学びたいと講和を夢中で聞く。既に、講話の術中に見事にハマつて

講演会等に積極的に参加して、身近な課題を学ぶ大切さを考えてみませんか。

平  
元

先駆者たる筆者お

6月中旬、松本市ホ  
テルアエナビスタで開

が使った小旗を書生に渡して、  
「あらがとお」「あらがい」・  
「あらがい」・「あらがい」の連呼で「ハイ、  
いいはやくいいの」の言葉を巧みに使い、観客の  
心を引き付けてしまった。  
これが「世界一の  
おもてなし」の地域や國に添乗する  
おもてなしの現在や

残った話が幾つかある。人は死を迎えた時、持つて行く物がある。それは「いい思い出」。楽しい人生だったと思いたいが死を免えてほしい。それには、遺言が大切。お嬢様の求めるものに感謝とし、どんな色付けられるのがナ

客様が持つ都合のいい  
ながらを差し込んだ闇  
く機会があった。情報  
の少なかった当時、部  
会の生活を聞くだけでも  
心躍ませた田舎の私た  
ち。遊び高めさせ田舎  
でしたら味わえなかっただ  
度きが多くてお客様を  
引き付けたのだなう。  
地元にこしかけなかっただ

ツアーワーとして紹介したのが「仇討ツアーワー」。男たちが楽しむ場所を、婦人が楽しむ企画を、シヨウで盛り上がるフルコース料理の高級クラブでお酒を楽しみ、レストランのフルコースで料理を堪能、ニューハーフの少ない時間の家出プランだ。

をB級農産物として  
売つていいのも知恵。  
これからは高齢化社  
会。介護ジマー車い